



雛めぐり

雛祭りの由来

もとは、中国で3月の最初の巳の日「上巳節」に人々が水辺に出て、手足を洗い、厄や災いを流す行事に由来します。

そこに、日本古来から行われていた自分の厄を「ひとがた」に移して川や海に流す風習や、平安貴族の子女が人形で遊ぶ「ひいなあそび」が長い間に混ざり合い、江戸時代に現在のような雛祭りが普及し始めました。

雛人形の飾り方

①お内裏さま、お雛さまはどちらが右？左？

もともと日本では中国の唐文化の影響を受け、雄雛が向かって右の形式でした。しかし、昭和天皇即位式での天皇が向かって左・皇后が右という位置を東京の雛人形界が参考にしたため、以後東京式は雄雛が左・女雛が右、京都式は雄雛が右・女雛が左になったと言われています。

②三人官女をよく見てみよう！

三人官女は宮中で働く女官。一体だけ眉毛を剃り、お歯黒をしています。東京式では右から長柄・三方・銚子を持ち、京都式では中央の女官が嶋台を持っています。

③仕丁の表情は？

仕丁は宮中で雑役をする人。その姿は人間の一生「若年・中年・老年」を表すものと、人間の三大感情「喜・悲・怒」を表すものがあります。台傘・立傘・沓台を持つのは東京式、箒・塵取り・熊手を持つのは京都式です。

町並み雛めぐりの始まり

雛めぐりがどうやって始まったのか、佐渡さんに聞きました。



NPO 法人ネットワーク竹原理事長 佐渡 泰さん

平成17年、NPO法人ネットワーク竹原が「空き家を活用したい」「四季折々の町並みを楽しんでほしい」という思いで、旧笠井邸の1階に雛人形を展示したことが町並み雛めぐりの始まりです。町並みの雰囲気と合った雛人形の

展示が好評で、翌年から規模を広げて開催することになりました。最近では、認知度も高まり、雛めぐりを知った地域の人から、雛人形を寄贈していただくこともあります。期間中のイベントも年々増えていて、今年も子ども雛めぐりが見所の一つです。雛人形の歴史、竹原の町並みの歴史を感じながら、ぜひ雛めぐりを楽しんでください。

子ども雛めぐり参加者募集

「たけはら町並み雛めぐり」では、3〜5歳児を対象に、着物姿で町並みを散策して集合写真を撮る「子ども雛めぐり」を企画しています。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時 2月28日(日)
10時30分〜

場所 町並み保存地区一帯

受付 町並み保存センター

募集人数 100人(先着)

申込期限 2月1日(月)まで

参加料 無料

参加へのお願い

①着物、足袋、草履はご用意ください。

②駐車場は、新町観光駐車場または竹原市職員駐車場(無料)をご利用ください。

③雨天の場合は、写真撮影のみとなります。

④保護者同伴でお願いします。

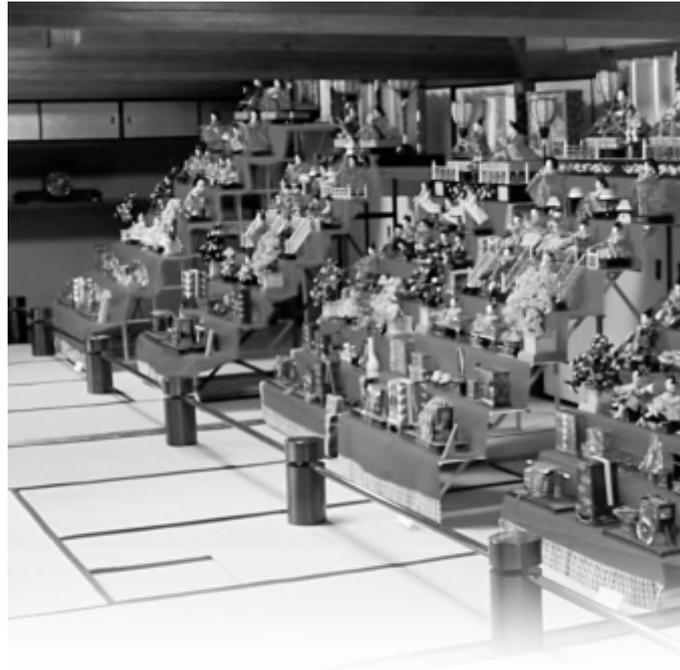
申し込み・問い合わせ

竹原市観光協会
☎ 22-4331





90年の歴史を誇る雛人形
 年季を感じる左の写真。ここに写っているのは、現在の市の重要文化財に指定されている森川邸に飾られていた雛飾りです。



森川邸を築いた元竹原町長の森川八郎さん。八郎さんには千鶴という一人娘がいました。彼女の初節句に贈られたのが、この写真にある雛飾りです。この雛飾りは千鶴さんがお嫁に行く際に、持って行かれました。

月日は経ち、昨年ご縁があつて千鶴さんのお嫁入り先から、その雛人形が森川邸に戻ってきました。

約90年前のお雛様ですが、現在もきれいに保存されています。千鶴さんがこの雛飾りを大事にしていた姿が伝わってくるようです。ぜひご覧ください。

雛めぐりの秘 知っ得情報

昨年からはじめた着物レンタルが好評です。期間中、着物特典もありますので、雛めぐりにはぜひ着物でご来場ください。

今年は新たに「子ども雛めぐり」というイベントも企画しています。雛壇のような集合写真を撮る予定ですので、みなさんお誘い合わせのうえ

お越しください。

また、恒例の笠井邸での三味線ライブ、お雛様の手作り体験教室なども開催予定です。

詳しい内容は、観光協会や公的施設を中心に雛めぐりマップを配布しますので、そちらをご覧ください。



伝統文化を楽しみませんか



お着物どうぞ



この三人官女は
東京式？京都式？



あなただけの手作りお雛様

雛めぐりにご協力を

雛人形や雛祭りに関連する品をお持ちで、雛めぐり開催期間中の展示にご協力いただける人は、ご連絡ください。この機会に雛人形をお披露目してはいかがでしょうか。

問い合わせ

町並み保存センター
 ☎ 22-1473

文化財防火訓練

1月26日は「文化財防火デー」です。竹原市にも、春風館や復古館などの貴重な文化財があります。文化財を災害から守るため、消防署・防団・地域住民が一体となつて防火訓練を実施しますので、ご参加ください。

日時 1月30日(土)

9時30分～(町並み)

場所 照蓮寺及び町並み保存

地区内

訓練内容 通報訓練・初期消

火訓練など

問い合わせ

観光文化室
 ☎ 22-7730